



アフームまいた翌日はオオタバコガの幼虫が  
すっかりいなくなってるよ。

群馬県太田市 茂木 周三さん(71歳)

地元のJAのなす部会に所属する、なすのベテランで専業農家3代目。

なす13a(くろべえ)、ほうれんそう70aを作付。



4年前ごろからオオタバコガの被害が増えてきたことから、JAの紹介で3年前にはじめてアフーム乳剤と出会った茂木周三さん。毎年、7月ごろと11月ごろに1回ずつ、オオタバコガの発生が多くなってきたときにアフームの2000倍液を10aあたり150L、動噴で散布していらっしゃいます。

「朝、収穫にいくでしょ。そうすると実に穴があいてその部分が白くなったなすが、チラホラと見え始めるわけ。あ、これはそろそろまずいな、と思ったところでアフームの出番。効きが速いのがいいよね。アフームまいた次の日には、もうオオタバコガの幼虫がすっかりいなくなってるから。残効も長くて、1回まけば、1ヵ月ぐらいはオオタバコガを抑えてくれるよ」。

まわりの仲間から評判を聞いたのも、アフームを使うきっかけのひとつだった、と茂木さんは言います。

「オオタバコガだったらアフームが効くよ、ってなす部会の仲間から聞いてね。JAでもすすめてくれるし、じゃあ試しにって使ってみたら、効果は期待以上。アフームまいたら、しばらくは安心してなすの収穫ができるんだ」。

収穫したなすは、JAに全量出荷の茂木さん。豊かに実ったなすの圃場が印象的でした。



syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

※2007年2月21日現在の情報です。